



器具によるアジャストメント ③

ドクターファーはアクティベーターの改良に当たって脊椎生体力学の研究者と共に、骨、関節を効率的に最小限の力で動かすには何が必要なのかという研究に着手しました。脊椎関節を手で直接行う矯正手技には関節の「ひねり」を加える手技もあります。アクティベーター器による「ひねり」は、ほとんど関節に「ひねり」を加えることもなく、アクティベーター器の中で「パチッ」というハンマーが弾く音が鳴

り、アクティベーター器が当てられた患部の圧力だけで矯正による強い衝撃力は感じません。関節が「ボキッ」と鳴る方が骨が動いたかのように感じるかもしれませんが、数少ないアジャストメントによる骨の動きの研究論文を比較すると、どちらの矯正も骨の動きにはさほど違いがないようです。

カイロプラクティックによる脊椎矯正の効果は、骨がA地点からB地点に移動するか

らではなく、骨、関節が矯正によって振動され、その関節周辺に散在する固有受容器が振動刺激を受けて活性化されることによる効果だと私は考えています。マニュアルによる矯正も器具による矯正も究極的には「振動刺激」による固有受容器への活性化による治療効果です。治療者はその本質をしっかりと理解した上で、関節の調整を行わなければ、治療を受ける患者にも誤解を生じさせることになるかもしれません。

「骨、関節を効率よく、患者への衝撃を最小に留めて振動させるにはどうしたら良いのか」という前提で考えると、「スピード」が鍵になります。物理学の運動エネルギーの方程式から考えても質量が小さくてもスピードが速ければ速いほど運動エネルギーの値は高くなります。つまり、患

者への衝撃の負担を最小に留めて効率的に骨、関節を振動させて、固有受容器を活性化させることができるわけです。頸椎にひねりを加えるマニュアルアジャストメントでは、患者によっては、最初は問題なくアジャストメントが行っても次のアジャストメントの際には、患者が反射的に構えて頸部に筋肉反射を生じさせ、調整がうまく行えないことがあります。

その点、アクティベーターのアジャストメントは手によるマニュアルアジャストメントよりもスピードが約200倍も速いので筋肉反射が生じる前にアジャストメントが完了します。よって、患者にはほとんど負担を加えることなく、アジャストメントの目的をスムーズに完了させることができます。(次号に続く)